

一般質問通告表

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

10月05日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
1	17分	玉城 義和(無所属)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 新政権との関連について

(1) 補正予算の「回収・凍結」について

新政権は「子ども手当」などの財源確保のため、既に交付済みの補正予算の中から回収・凍結するものもあるとしている。

ア これまでの県の積立金の額は幾らか。

イ 支出した額と事業は何か。

ウ 今後事業化を計画している基金活用事業名、事業金額及び民間との調整状況はどうなっているか。

エ 「回収・凍結」をどのように受けとめているか。また、どのようなことが想定されるか。

(2) 新年度予算について総額の引き上げと「一括交付金化」という制度的新提案について

ア 一括交付金とはどのような概念か。

イ 同方式と沖振法に基づく「高率補助制度」の関係は。

ウ 地方交付税への影響はどのようになるか。

エ 夏に提出された「沖縄関係概算要求額」に対しても当然見直しが行われるものと思うがどうか。

(3) 新政権と辺野古移設について

6月議会で「知事は県外がベスト」というのであれば、民主党などは県外へという主張から歓迎すべき政権ではないかとの質問に「名護市辺野古に移すことが最も現実的」という意味の答弁をしている。今日、なおその立場に変わりはないか。

(4) 新政権の評価について

ア 総選挙で県内4選挙区で知事与党であった自民党の議席が得られなかった。このことをどう受けとめているか。

イ 連立新政権をどのように評価するか。また間合いをどのようにとっていくのか。

2 環境影響評価準備書に対する知事意見について

県環境影響評価審査会において準備書に対する多くの批判、異論が出ている。知事はどうの観点から知事意見を提出するか。

3 沖縄縦貫鉄軌道の導入について

沖縄21世紀ビジョン中間案の中に鉄軌道導入について明記された。画期的なことであり審議委員及び知事の英断に敬意を表する。

(1) 本島縦貫鉄軌道導入についての基本的な考え方を伺う。

(2) 2030年実現に向けてどのように作業を進めていくか。

(3) 実現への条件はどのようなものとするか。

4 県民医療の確保について

(1) 県立北部病院産婦人科の現状と今後の対応策について

(2) 新型インフルエンザについて第一波の人数及び予想される第二波の予想人数とその対策について明らかにされたし。

5 県立芸大の今後のあり方、運営について

(1) 県立芸大の建学の理念とはいかなるものか。

- (2) 県立芸大の果たしている役割をどのように認識しているか。
 - (3) 同大学の将来構想について説明されたし。
 - (4) 県の財政負担はどうか。
 - (5) 卒業生の就職状況はどうか。
- 6 自殺予防対策について
- (1) 対応策を伺う。
- 7 宮古「南静園」、名護「愛楽園」について
- (1) 「長期計画」についての県の対応策について伺う。

一般質問通告表

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

10月05日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
2	17分	瑞慶覧 功(社大・結)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 沖縄返還密約について

- ア 米軍用地の原状回復費をめぐる「肩代わり密約」のほか、有事の際の核再持ち込みに関する密約があったと言われる。知事の見解を伺う。
- イ 佐藤栄作元首相のノーベル平和賞の受賞について
6月議会で知事は、「非核三原則や東アジアにおける平和の増大への貢献を理由に受賞されており、功績が評価されたと理解している」との答弁でした。密約の存在が明らかになった場合の知事の見解を伺う。

(2) 与那国町の自衛隊誘致について

- ア 外間与那国町長が6月30日に当時の浜田防衛相に自衛隊誘致を要請した。事前に県との話し合いはなされたのか。知事の見解を伺う。
- イ 知事は7月10日の定例会見で、与那国町が自衛隊誘致を正式に国に要請したことについて、「どこに配備されるかは、国自身が判断して決めるものだ」との考えを示している。知事の見解を伺う。

(3) 嘉手納基地のF15削減打診について

- ア 嘉手納基地に関する3市町連絡協議会会長の野国昌春北谷町長は、「これまで3連協でF15の撤去を訴えてきた。過重な基地負担を押しつけていながら、米側の打診に対して、日本政府が難色を示すことは理解できない」と不快感を示しているが、知事の見解を伺う。
- イ 知事にケビン・メア在沖米国総領事から情報としてなかったのか伺う。
- ウ 8月25日、在沖米国総領事にレイモンド・グリーン氏が着任した。在沖米国総領事の任務は何か伺う。

2 基地問題について

(1) 米軍基地内の米軍住宅建てかえについて

- ア 日米両政府が連携して16年間で2280億円かけて、改築や新築計画を実行するという。知事の見解を伺う。
- イ 計画内容と日米両政府の負担割合を伺う。

3 警察行政について

(1) 改正道交法関連

- ア 罰金や罰則がどう変わったか、また、改正後の効果を伺う。
- イ 罰金、過去5年の年度ごとの金額を伺う。
- ウ 罰金はどう取り扱われるか伺う。

4 農林水産、環境行政について

(1) EM(有用微生物群)の活用について

- ア 農林水産部、文化環境部、それぞれのEMの評価について伺う。
- イ 北中城村の石平家人衆の会が県の2級河川に浄化のため、毎週1トンのEM液を入れているとのことである。県の見解を伺う。

5 国際交流について

- (1) 2009沖縄伝統空手道世界大会について、総括と反省点を伺う。
- (2) 2010年沖縄国際映画祭について
 - ア 2010年の開催が、北谷町から宜野湾市に変更された理由を伺う。
- 6 地域の課題について
 - (1) 白比川改修事業のおくれについて
 - ア 米軍施設内の建物の移転交渉について協議が難航している原因を伺う。
 - イ 町も交えて、地域住民への説明会を開催する必要があると思うが、見解を伺う。
- 7 社会問題について
 - (1) 公衆の場での入れ墨・タトゥー規制について
 - ア 温泉やサウナ等で「入れ墨の方は御遠慮ください」との看板を目にするが、拘束力はあるのか伺う。
 - イ 県や市町村営のプールやビーチ、温泉等の施設での対応はどうなっているか伺う。
 - ウ タトゥーや入れ墨がファッションとして流行している。社会的に認知されているのか、認知すべきなのか、規制はできないのか見解を伺う。
- 8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

10月05日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
3	17分	當間 盛夫(改革の会)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

- (1) 沖縄電力は、関連会社含めて全力で選挙運動をされたようです。沖縄電力は多くの税金や県民が支払う電気料金で支えられているが、選挙運動のあり方として公平・中立性が求められると思うが、知事の見解を伺う。
- (2) 鳩山首相が提言する「東アジア共同体」構想にどのような期待をされているのか。また、「東シナ海ガス田開発」は沖縄の重要課題である。どのような対策をとられるのか伺う。
- (3) 変化はチャンスである、沖縄版ODAとかザル経済とやゆされてきた関連予算を戦略的にかち取るべきである。沖縄みずから発信するためにも「戦略対策室」を設置することは急務と考えるが見解を伺う。
- (4) 失業者対策は県の重要施策である。緊急雇用創出、再生特別事業のこれまでの効果とこれからの対応策を伺う。
- (5) 旧軍飛行場用地問題で、今度の政権に「特別枠」や戦後処理としての対応を求めることが必要である。これからの事業に対する県の方針転換と地主側の立場に立った解決策について対応策を伺う。
- (6) 日本航空の経営再建問題は、沖縄の振興や路線確保の意味からも重要な問題である。JTAへの対応策等含めて見解を伺う。

2 低炭素社会づくりについて

- (1) 沖縄とハワイを拠点としたクリーンエネルギー協力計画策定について、県の取り組みと「観光とエコ」の展望について伺う。
- (2) 鳩山政権の「地球温暖化温室ガス削減25%」が世界で評価されているが、県の予算にその意気込みが見えない。太陽光発電システムに対する今後の補助制度や全部買い取りにどのように対応されるか見解を伺う。
- (3) CO2削減、渋滞による経済損失、タクシー等雇用確保からも本土大手企業のレンタカー車両増車を規制すべきであり、また地元業者への電気自動車導入に補助金など促進すべきと思うが見解を伺う。
- (4) 沖縄電力の「排出量、料金の高さ全国一」は沖縄の振興を妨げている一つである。CO2削減の目標値も示せない理由と県の指導、また中長期経営計画で「原発研究」とあるが、観光や米軍基地などを考えると疑問である。今後の経営改善に向けての県の対応と見解を伺う。

3 離島振興策について

- (1) 離島航路は、住民生活の安定向上だけでなく観光路線としても重要である。安定運航支援、港湾整備、新船建造費全額補助など離島航路対策について伺う。
- (2) 久米島町の重点施策として「海洋温度差発電複合利用実証研究開発」がある。国内最大級の海洋深層水取水設備があり、エネルギー問題、地域振興策が期待できるが、県の対策を伺う。
- (3) 離島の水資源の確保、水源開発について、特に座間味村の対応について伺う。

4 地域活性化及び経済振興策について

- (1) 中城港湾マリン・タウン・プロジェクトのホテル用地、与那原マリーナ、住宅用地Bの進捗と整備状況について伺う。
- (2) 都市モノレール延伸事業の進捗状況とモノレール乗客減少の対応策について。また、与那原・那覇路面電車構想など新交通システム構築をどのように検討されているのか伺う。

- (3) 那覇市の「農連地区再開発事業」は、中心市街地活性化の点からも早期の事業スタートが望まれるが、進捗状況を伺う。
- (4) 海外誘客対策予算は費用対効果から疑問である。通訳の育成や両替など受け入れ体制の強化が必要である。また、台湾や中国の民間企業を活用した効率ある対応が必要と考えるが対策を伺う。

5 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

10月05日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
4	17分	赤嶺 昇(改革の会)	知事 関係部長等
質問要旨			
<p>1 知事の政治姿勢について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 普天間基地の移設について今後どう取り組むかを伺う。(2) 普天間基地の3年以内閉鎖状態の公約達成見込みを伺う。(3) 知事は、訪米する考えはあるかを伺う。(4) 沖縄自動車道(高速道路)のあり方について知事の見解を伺う。(5) 知事の任期もあと1年ですが、多くの公約が未達成になっています。知事は、来年の知事選挙に出馬する意思があるのかを伺う。 <p>2 福祉・教育行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 認可外保育所への支援強化をする考えはないかを伺う。(2) 学童保育の支援強化をする考えはないかを伺う。(3) 認可保育所の支援強化をする考えはないかを伺う。(4) 青少年の遠征費用及び派遣等の航空運賃軽減措置について、県の取り組みを伺う。(5) 発達障害への取り組みを伺う。(6) 児童虐待の課題と対策を伺う。 <p>3 土木建築行政について</p> <ul style="list-style-type: none">(1) 米軍基地内の公共工事における県内業者の受注に向けての県の取り組みを伺う。(2) 国関係発注工事における県内業者の優先受注について、県の取り組みを伺う。(3) 土木建築業界に対する県の支援策と成果を伺う。 <p>4 暴走族対策の成果を伺う。</p> <p>5 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

10月05日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
5	17分	平良 昭一(改革の会)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 知事の政治姿勢について

(1) 天下り、渡りの撤廃について

- ア 県内に国からの天下りの在籍する独立行政法人、特殊法人、公益法人の現状を伺う。
- イ 今後、政府は「天下り」を徹底的に見直しすると強調しているが、それに対する見解と対応を伺う。
- ウ 県の行財政改革での外郭団体の見直し、進捗状況と今後の対応を伺う。

(2) 米軍基地の再編と移設問題について

- ア 3党連立政権成立後の知事の基地問題のスタンスはこれまでと変わらないのか。所見を伺う。

(3) 沖縄振興計画について

- ア 自立できなかった原因は何か。知事の見解を求める。
- イ 製造業の落ち込みは大きい。育成をしなかったのが原因ではないか。見解を求める。
- ウ 金融特区・情報通信関連産業の集積の状況と費用対効果を伺う。

(4) 失業問題について

- ア 平成21年度失業者数は5万8000人、失業率は8.6%と依然として高い。公約の「失業率の本土並み」はむしろ悪化しており、その見解を求める。
- イ 若年層の失業率が極めて高い。その対応並びに新規高卒求人対策について伺う。

2 北部振興策事業の課題と問題点について

- (1) 1000億予定のうち、10年間で8割にも満たない執行だが、余ってしまった原因は何か。
- (2) 基本方針の雇用創出と定住人口の増加はどうなっているか。
- (3) 2010年で切れる北部振興策の延長について知事はどう考えるか。

3 福祉医療行政について

(1) 北部病院の産婦人科医師不足問題について

平成17年4月の産婦人科休止、19年12月に2人の医師確保で部分的な再開、20年12月には4人体制で救急診療も再開されたやさき、ことしの4月から3人となり終日の救急医療体制がなくなり、さらに1人の医師がおやめになったと聞く。なぜやめたか。その原因は、もう対策はないのか。

(2) 介護ベッドについて

- ア 県内ホテルの介護ベッドの設置状況。
- イ 障害者手帳に対応の状況を記載すべきだと思うがその見解を伺う。

4 河川整備について

- (1) 大宜味村大保川河川整備新計画の概要は。
- (2) 今後の県内の河川整備の基本的な計画について伺いたい。

5 奥間ダム建設計画について

- (1) 利水の観点からの見解。
- (2) 治水事業の見地からの考え方は。

6 水産海洋研究センター移転建築について

- (1) 老朽化で移転建築が必要。現在の取り組みについて
 - (2) 試験研究に必要な海水の確保、調査船の係留及び用地取得の容易さ等を総合的に勘案すると本部町沿岸が最適であり、強く要望しているが見解を賜りたい。
- 7 教育行政について
- (1) 県立高校のPTA室の設置義務について
 - ア PTA室の設置状況と役割、義務化についてどのように考えているか。
 - (2) PTA予算と学校予算とのかかわりについて
 - ア PTA予算の管理と執行について最終決裁権はだれにあるのか。(校長、PTA会長、事務長)
 - イ 校内自動販売機の設置と管理について規定があるのか。学校、PTA、生徒会、後援会等どちらでも設置できるのか。
 - (3) 県立高校の統廃合について
 - ア 沖縄工業高校の定時が那覇工業高校の定時に統合されると聞くが、その予定と方法、時期は、そして受け入れ先の整備状況はどのように考えているのか。
- 8 我が会派の代表質問との関連について

一般質問通告表

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

10月05日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
6	17分	金城 勉(公明県民会議)	知事 関係部長等
質 問 要 旨			
<p>1 福祉保健部関連について</p> <p>(1) 子育て支援策について</p> <p>ア 安心子ども基金特別対策事業により、保育所整備の状況と待機児童解消への効果はどうか。</p> <p>イ 認可外保育園の認可促進のための「待機児童対策特別事業基金」を活用しての取り組みが遅い。課題と今後の取り組みを伺う。</p> <p>ウ 認定子ども園(幼保一元化)の県内の状況と今後の取り組みについて</p> <p>エ 学童保育施設の整備計画について</p> <p>(2) 介護問題について</p> <p>ア 高齢者保健福祉計画(H21年3月策定)の介護施設整備の進捗状況はどうか。</p> <p>イ 介護施設入所希望者の待機者の実態はどうか。</p> <p>ウ 待機者解消への見通しはどうか。</p> <p>エ 「介護職員処遇改善等臨時特例基金」による介護職員の処遇改善の見通しはどうか。</p> <p>(3) 子育て、介護、高齢者医療問題等の21世紀ビジョンへの位置づけはどうか。</p> <p>2 教育委員会関連について</p> <p>(1) 幼稚園3年保育の現状と取り組みについて</p> <p>ア 教育委員会の方針はどうか。</p> <p>イ 全国の状況はどうか。</p> <p>ウ 3年保育の学力に及ぼす影響はどうか。</p> <p>3 土木建築部関連について</p> <p>(1) 中城湾港整備について</p> <p>ア 県土の均衡ある発展の観点から中城湾港をどう位置づけているか。</p> <p>イ 中城湾港管理組合の設置計画はどうか。</p> <p>ウ 流通加工港湾としての振興方策はどうか(産業用電力の料金設定、工業用水料金設定、冷凍庫及び計量器の設置、上屋倉庫増設、大型クレーン設置等々)。</p> <p>エ リサイクル・ポートとしての有効活用の方策はどうか。</p> <p>オ 泡瀬地区埋立事業が中断、中止になった場合、中城湾港整備に与える影響はどうか。</p> <p>カ 中城湾港地区の21世紀ビジョンへの位置づけはどうか。</p> <p>キ 定期航路就航に向けての取り組みはどうか。</p> <p>(2) 県道33号線と市道・高原泡瀬線の交換について</p> <p>4 農林水産部関連について</p> <p>(1) モズク振興について、継続的支援が必要だが、今後の取り組み予定はどうか。</p> <p>5 観光商工部関連について</p> <p>(1) 住宅用太陽光発電システムへの補助金制度の追加支援について</p> <p>6 我が会派の代表質問との関連について</p>			

一般質問通告表

平成21年第5回沖縄県議会(定例会)

10月05日(月)

順位	時間	氏名(会派)	答弁を求める者
7	17分	中川 京貴(自民党)	知事 関係部長等

質 問 要 旨

1 水産業振興について

我が国は、食料自給率の向上が大きな課題となっており、魚介類の養殖が進められ、海洋タンパク源の安定供給に大きく寄与しております。本県におきましても、県民に対し一年を通して安全な魚介類を提供しなければなりません。しかし、本県においては、本土と違い台風を初め季節風(ニンガチカジマーイ・台湾坊主)等、365日天気にも左右され漁に出られないことが多々あります。そこで定置網に入る魚を牧場の中でストックし、一年を通して競り市場に新鮮な魚・活魚が販売できる仕組みをとり、漁業推進、県内水産物の供給、県外・国外への流通、とる漁業からつくり育てる水産振興のために、海に囲まれた本県の特性を生かし、知事が掲げる1000万人観光立県沖縄を目指すためにも、観光・雇用(仕事をし、学び、体験し、遊べる)場所として、県外はもちろん国外からも注目するダイビング施設とリンクさせ、400キロにもなるという巨大魚ハタ(アーミーパイ)・ジンベイザメ・ナポレオンフィッシュ・マグロ等を養殖し、一緒に泳げる施設として活用できる場所。これが私が提案する海の牧場です。

(1) 海の牧場(海洋牧場)について

- ア 本県における地産地消を推進する立場から食の安全と一年を通して安定供給するために定置網からとれる、生きた魚を海の牧場で育て(養殖)新鮮な魚を県民に供給できる、海の牧場の設置は可能か。
- イ 離島県である沖縄の水産業をつくり育てる漁業を推進するため、先進地域における海洋調査などを行ったことがあるか。(海の牧場(海洋牧場))

(2) 県内における定置網(戸数・水揚げ高・場所)の状況について

ア 定置網漁業者に対する支援策は。

イ 本県における魚介類養殖の戸数と種類と場所は。

(3) 我が国の水産業の需給率は、また、本県の水産業の需給率は。

(4) 市町村を初め、漁業協同組合に対する支援策または補助制度について(貸し付け等)(船のエンジン交換・漁具(網・釣り器等))

(5) ダイビング業者への支援策または助成措置・補助制度は。(無利息貸し付け等)

2 土木建築行政について

(1) 米軍基地内の公共工事における県内業者の受注率(ボンド制度)について

(2) 県として米軍基地内の米軍工事の発注に県内業者が参加できる施策として、県はどのように考えているか。

(3) 基金を設立して県内業者の支援ができないか。

(4) 分離発注ができるよう知事が交渉できないか。

(5) 国関係発注工事の県内業者の受注工事(沖縄総合事務局及び沖縄防衛局)に係る県内業者の受注率及び県外業者の受注率について

(6) 県は、国関係発注工事の県内業者の支援策としてどのような取り組みを行ってきたか。

(7) 県発注工事の最低基準価格の改正後は。

3 道路行政について

(1) これまでの県発注道路工事の進捗状況について

ア 県発注道路工事の優先順位について

(2) 県道工事(戻り工事)道路整備をした後に、アスファルトを掘り起こして下水道工事・水道

工事など、本県における事業箇所の実施経過について

- (3) 嘉手納町・読谷村地域からこれまでの沖縄高速道路に接続する幹線道路にインターチェンジを。
 - (4) 西湾岸道路(嘉手納バイパス)の進捗状況について
 - (5) 西湾岸道路(嘉手納バイパス)の経緯について、今後の見通し及び完了の予定は。
- 4 我が党の代表質問との関連について